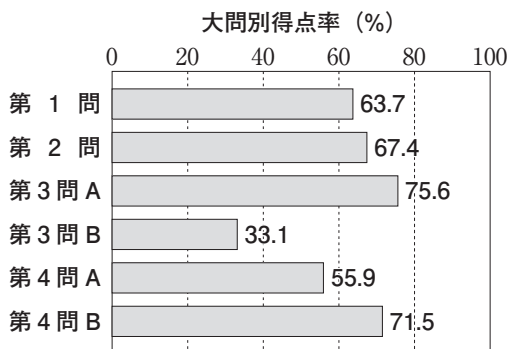
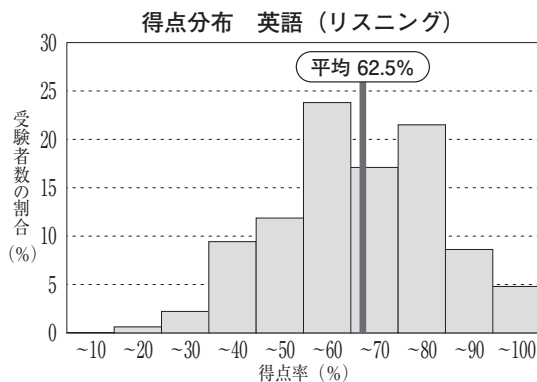


英語 (リスニング)

さまざまな種類の英文を聞き、対応力を高めよう。

I. 全体講評

今回のリスニング問題の平均得点は31.3点であった。大問別に見ると、最高が第3問Aの75.6%、最低が第3問Bの33.1%であった。他はいずれも50%台から70%台で、3Bでの不振だけがやや目立っていた。小問別正答率でも、最も低い2問がここに含まれていた。他の箇所については総じて安定していた。リスニング問題では、素材本文として会話・対話文を中心としながらも、説明的な文も一定の割合で採用されている。この点を考慮しながら、日頃のトレーニングではさまざまなタイプの英文の聞き取りを心がけ、さらなる地力アップを目指してほしい。



II. 大問別分析

第1問 対話の聞き取り (数値・語句・イラスト選択) 設問によってかなりの差が見られた

第1問の得点率は63.7%で、全体としてはかなりよくできていた。ただし、小問ごとの正答率を見ると、30%台後半から80%台後半までの範囲でばらついていた。毎回数値やイラストを含む問題に悩まされる人が多いが、今回最も正答率が低かったのも、やはり金額に関する数値問題の問2だった。今回の場合は計算に加えて、split the bill (割り勘にする) という表現もポイントになっていた。もう1つの数に関する問題は時間を問うたものだったが、こちらは答えやすかったようだ。一方、イラスト問題はどちらも好結果であった。ぜひとも、この調子を維持してほしい。

第2問 対話の聞き取り (応答文選択) 会話らしい表現に要注意!

今回の第2問の得点率は67.4%とかなりの好成績だった。小問別の正答率でも、40%弱に終わった箇所が1つあったほかは、すべて50%台から90%弱の高いレベルで安定していた。40%弱の正答率に終わったのは問13である。ここは①I think I did. という会話らしい短い応答を選ばせる問題だったが、正解者は半数にも満たなかった。表現は単純であるが、このI did=I got the jobという関係をつかめなければ答えられない。英語の会話では頻出するパターンなので、即座に反応できるように、Do you think 以下を何度か声に出して読み、暗記するくらい目や耳に馴染ませておいてほしい。

第3問A 対話の聞き取り (質問に対する答えの選択) 今回は申し分なくよくできていた!

今回の第3問Aの得点率は75.6%で、すべての大問中最高の成績であった。小問ごとの正答率を見ても、60%台後半から90%を超えるものまでと、高いレベルで安定していた。これだけの成績であれば、個別に指摘すべき問題点はない。ここでは、あ

る対話を聞いて、1つの内容一致問題に答えるわけであるが、いくぶんか本文が長くなるだけ、特定部分よりも文脈全体を把握する能力が試される。対話が行われている場面や状況、発言の意図などに十分留意し、全体の流れをつかむようにしよう。質問文や選択肢の英文を素早く読み取ることも重要である。今回は好結果であったが、類似問題を通じてトレーニングを積み、好調子を維持してほしい。

第3問B 長めの対話の聞き取り

後から加えられた修正発言が決め手となる！

第3問Bの得点率は33.1%で、今回の大問の中では最も低かった。正答率の内訳は、10%台、20%台、50%台がそれぞれ1問ずつだった。不振だった箇所の1つは問17で、ハイキングの出発予定時間を問うものであった。最初に女性が「午前6時」と言いながら、後になって男性が「1時間早く」と修正しているのが、①「午前5時」が正解となる。正解者は2割に満たず、大半の人が②「午前6時」を選んでいった。このような時間や数値のトリックは、第1問の場合と同じである。もう1つ正答率が低かった問19では、キャンプ場の所在地が問われている。そして、ここでも正解となるのは2つのアイデアのうち、後から提示される修正案である。男性が「山の西側のふもと」と言ったのに対し、女性が提案した「東側のふもと」が最終的に選ばれる。正解者は3割に満たなかったのに対し、最初の男性の案をそのまま示した③を選んだ人が4割以上いた。このように、第3問Bでは素材文が一気に長くなり、会話中のやりとりにも紆余曲折がありうることをよく覚えておいてほしい。

第4問A 長めの文章の聞き取り

本文の内容を総合的にとらえよう！

今回の第4問Aの得点率は55.9%であった。小問別の正答率を見ると、40%台が2問と70%台後半が1問で、ややバランスを欠いていた。40%台の設問は問20と問22であるが、これらには共通性がある。それは会話中のある特定部分の情報というよりも全般的な内容を問うていることである。前者は「話者がしたいことは何か」であり、後者は「この話のタイトルとして最も適切なものは次のうちどれか」というものである。長い本文であるが、ここで求められているのは、やはり文脈全体を正確

にフォローし、その内容を概括的にとらえる力であろう。間違えた箇所については、そのような視点で本文と選択肢を見直しておこう。

第4問B 長めの会話の聞き取り

高く評価できる好成绩だった！

第4問Bの得点率は71.5%と非常によくできていた。小問別の正答率を見ると、50%台から80%とややばらつきがあったが、大きく足を引っ張った箇所がないことが好成绩につながった。会話形式で一般的な話題を取り上げているとは言え、ここで安定した成績を取めたのは高く評価できる。最後になって長い英文を聞き取らなければならないのは厳しい課題であるが、今後もトレーニングを続ける中で、問題形式に慣れると共に、ここ一番という時に求められる集中力を養ってほしい。

Ⅲ. 学習アドバイス

◆設問形式に則した対策をとろう！

今回は第3問について述べてみよう。第3問Aは対話に基づく内容一致問題である。今回の成績は非常によかったが、短い英文だからと言って必ずしも容易なわけではない。設問によっては複雑なケースもある。やはり文脈全体、会話全体の流れをつかむことが最も肝心である。特に、親しい人物同士の日常的な会話の場合は、情報をわかりやすく伝える説明的な文とは異なり、大げさな感情表現や、ユーモア、誇張、皮肉などの要素が加わることも珍しくない。言葉の裏の意図や心理を読み取るようにしたい。今回の第3問Aについても、間違えた問題があれば、人物たちの意図や気持ちを適切に汲み取れたかどうかをチェックしてほしい。

これに対して第3問Bは長い対話文を用いながらも、説明的な情報がポイントとなっている。まず、問題冊子の図や表を見て、どのような項目が記載されているかを確認し、およその会話の内容を予想することが大切である。ここで使われる図表や本文には数値を含む細かな情報(今回の場合は時刻)が含まれる。かなり長い対話文である上に、数詞や序数の聞き取りは何にもまして重要なので、うまくメモを取るなどの工夫をしたい。数値の聞き取りは第1問でも大きなウェイトを占めるので、ぜひ日頃の学習に取り入れてみよう。